

算数科学習指導案

2年1組 早野 優一

1. 単元名 「すきすき たんていだん ～アンケートから ころみよう～」

算数に感じ、未来をそうぞうする子ども
～「捉えなおし」を通して発揮する、そうぞう的实践力～

2. 単元設定の理由

(1) 単元について

子どもたちは、4月に表とグラフを学習し、身近な事象を整理するために表やグラフが役に立つことを理解している。また、未来そうぞう科A領域「すきすきまつり」C領域「秋まつり」では、お客さんからもらったアンケートに関心を持ち、他者から見た自分を意識しはじめている。数値による評価だけでなく、感想にも目を向け、改善点を未来ノートに記録する姿も見られる。

本単元は、未来そうぞう科A領域「すきすきまつり」の活動のサイクルに、算数科「表とグラフ」を位置づけた学習である。算数科としては、自分の身近な活動(すきすきまつりのアンケート結果)に対して、表とグラフの見方・考え方を活かして整理し、結果を考察する力を育むことをねらいとしている(Dデータの整理)。また、アンケート結果(他者評価)を活かして、よりよく工夫し続ける姿は、未来そうぞう科におけるそうぞう的实践力を育むことにつながると考える。アンケート分析は、3週のサイクルを計画している。

本時では、2週目のサイクルでのアンケートを分析する。表やグラフに整理するのは1週目のサイクルで経験しており、子どもたちは「前よりよくなったかな」「どう変わったかな」と変化に関心を持っていると考える。そのため、前回と今回の2つのグラフを、必要感を持って比較する場が生まれる。比較することで「捉えなおし」、1つのグラフの見方(多い、少ない、差はいくつ)から、2つを比較する視点を獲得し「ここがふえた(減った)」など、変化を読み取ることができるようになると考える。また、アンケートの結果には、感想も含まれるので、数値とその理由を読み取ることで、よりよい「すきすきまつり」(3週目のサイクル)につながれると考える。

未来そうぞう科での学びに算数科での学びが必要感を伴って位置づくことで、そうぞう的实践力が発揮されると考える。本実践での子どもの姿を通して提案したい。

(2) 単元の目標

学習指導要領の資質・能力			そうぞう的实践力が発揮される姿
主体的に学習に取り組む態度	数量に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	主体的実践力を発揮 A 算数に感じる・問題意識 B 既習事項・気づき	E 2つの表の比較することで新たな見方・考え方(変化)を獲得し、さらに考え続ける姿。(算数科)
思考・判断・表現	データを整理する観点に着目し身の回りの事象について表やグラフを用いて考察すること。	協働的实践力を発揮 C 思考の発信 D 変容・確立	E 結果をもとに、よりよい活動に結びつけて考え続ける姿(未来そうぞう科)
知識・技能	身の回りにある数量を分類・整理し、簡単な表やグラフを用いて表したり読み取ったりすること。		

(3) 活動構成の仮説

未来そうぞう科と関連した場の設定によって、そうぞう的实践力を発揮することができる。

アンケートを分析し、活動を改善するサイクルは、算数科の「表とグラフ」(Dデータの活用)と関連する。結果の分析の繰り返しによって前後を比較する場が生まれ、表やグラフの見方・考え方を「捉えなおし」、算数科におけるそうぞう的实践力を発揮させる手立てとなる。また、結果から次の活動をよりよくし続けることは、未来そうぞう科におけるそうぞう的实践力の発揮につながる。このような、2つの教科を互いにリンクさせ、そうぞう的实践力を発揮させる手立てとなる場の設定が大切であると考えられる。

3. 指導計画（未来そうぞう科と関連した算数科の学習の位置付け）（算数科としては、囲み部分 2時間目／全3時間）

学習活動と子どもの意識		算数科としての評価 ㊦ ㊧ ㊨	そうぞう的实践力を高めるしかけ		
算数科	未来そうぞう科		イメージ力	クリエイトカ	レジリエンス
<p>・表とグラフ（4月）</p> <p>表やグラフにまとめると、このクラスのことを知ることができるね。</p> <p>2年1組のひみつを表やグラフで調べよう。</p> <p>B 仲間作り・自己紹介</p> <p>新しい友だちと出会えた。仲良くしたい。みんなのことを知りたいな。</p> <p>A 「すきすき かかりかどう」</p> <p>みんなの好きなことをアンケートして、表にまとめると、みんなのことがわかるね。</p> <p>C 「いきもの しぜんたんけんたい」 秋まつり</p> <p>自分たちは楽しかったけど、お客さんには秋を感じてもらえたのかな。</p> <p>アンケートをいかして、第2だんの見通しをもとう。</p> <p>アンケートの結果をまとめれば、お客さんの反応がわかりそうだ。</p> <p>一番数が多いのは5段階の2の人は、何のお理由を書いているのかな。</p> <p>5段階の2の人は、1回目よりも、・・・をよくしたよ。お客さんに満足してもらえるといいな。</p> <p>秋まつりをふりかえろう。</p> <p>アンケートをもとに考えると、前よりももっといい秋まつりになったね。</p>	<p>B 仲間作り・自己紹介</p> <p>新しい友だちと出会えた。仲良くしたい。みんなのことを知りたいな。</p> <p>A 「すきすき かかりかどう」</p> <p>みんなの好きなことをアンケートして、表にまとめると、みんなのことがわかるね。</p> <p>C 「いきもの しぜんたんけんたい」 秋まつり</p> <p>自分たちは楽しかったけど、お客さんには秋を感じてもらえたのかな。</p> <p>アンケートをいかして、第2だんの見通しをもとう。</p> <p>5段階の2の人は、1回目よりも、・・・をよくしたよ。お客さんに満足してもらえるといいな。</p> <p>秋まつりをふりかえろう。</p> <p>アンケートをもとに考えると、前よりももっといい秋まつりになったね。</p>	<p>知表やグラフに表し、読み取ることができる。</p> <p>愚表やグラフから簡単な特徴を読み取ることができる。</p> <p>㊦表やグラフのよさを感じ、進んで表して調べようとする。</p>	<p>新しい仲間作りのために自己紹介する。</p> <p>●関わりを持つ（主）</p> <p>みんなが好きなものについてインタビューする</p> <p>●意見を聞く（協）</p>	<p>みんなの好きなものを調べて発信する。</p> <p>●自分が調べたいことに没頭（主）</p>	<p>共有することで友達との共通点・相違点を見つけ、会話に活かす。</p> <p>●自分と友達とを結びつける（協）</p>
<p>1・2月</p> <p>前にやったアンケートは、今回のすきすきまつりでも役に立ちそうだ。</p> <p>A 「すきすき たんていだん」</p> <p>自分のすきをみんなに知ってもらいたいな。</p> <p>すきすきまつりをしたよ。見てくれた人たちはどう思ったのだろう？</p> <p>第1時</p> <p>アンケートからすきすきまつりをふりかえろう。</p> <p>周りのみんながどう思っているのかを知るためには、アンケートの結果を表やグラフで表すことが役に立つね。</p> <p>感想にはこんなことが書いてあったよ。次はこんな風にしたいな。</p> <p>第2時（本時）</p> <p>2回目のすきすきまつりをふりかえろう</p> <p>前回の結果と今回の結果を比べると、よくなったことがわかったよ。</p> <p>前回よりも、・・・を変えたのがよかったんじゃないかな。次は、新しい「すき」にも挑戦してみようかな</p> <p>第3時</p> <p>3回目のすきすきまつりをふりかえろう</p> <p>表とグラフで、お客さんの意見を整理すれば、算数で学んだことを未来に活かすことができるんだね。</p> <p>自分のすきなことが、みんなに楽しんでもらえてよかったな。自分の好きなことに、自信を持てるようになったよ。</p>	<p>A 「すきすき たんていだん」</p> <p>自分のすきをみんなに知ってもらいたいな。</p> <p>すきすきまつりをしたよ。見てくれた人たちはどう思ったのだろう？</p> <p>感想にはこんなことが書いてあったよ。次はこんな風にしたいな。</p> <p>前回よりも、・・・を変えたのがよかったんじゃないかな。次は、新しい「すき」にも挑戦してみようかな</p> <p>自分のすきなことが、みんなに楽しんでもらえてよかったな。自分の好きなことに、自信を持てるようになったよ。</p>	<p>知アンケート結果を整理し、簡単な表やグラフで表したり読み取ったりする。</p> <p>愚アンケートをもとに、お客さんから見た自分の活動について、表やグラフを用いて考察すること。</p> <p>㊦表やグラフから、前回と今回を比較したり次の活動の見通しを持ったりできることに気づき、次の学習に生かそうとすること。</p>	<p>自分の好きを他者に知ってもらうために方法を考える</p> <p>●関わりを持つ（主）</p> <p>アンケート結果をもとに、次の活動を見通す。</p> <p>●既習事項と結びつけて見通す（主）</p>	<p>実際にすきすきまつりでやってみる。反応を感じとる。</p> <p>●自分がすきなことを没頭して取り組む（主）</p> <p>再びすきすきまつりでやってみる。前回との反応の違いを感じとる。</p> <p>●意見を整理する（協）</p>	<p>アンケートを整理し、結果をもとに改善する方法を考える。</p> <p>●自分と友達とを結びつける（協）</p> <p>●改善（そ）</p> <p>自分のこれまでの活動をもとに、自分の「好き」について振り返る</p> <p>●価値づけ（そ）</p>

4. 本時について (2時間目/全3時間)

(1)①本時の目標と②本時でめざす実践力を発揮している姿

- ①過去と現在の表を比較することで「捉えなおし」、変化を読み取っている。【思考力・判断力・表現力】
- ②アンケートから自己の成長を読み取り、次のよりよい活動を想像し続けている。【そうぞうの実践力】

(2)展開

問題解決の流れ	子どもの意識		評価 (○) と支援 (◆)	
1. 問題と出会う。 「自分のスキスキはみんなにどう思ってもらえたのだろう。」	すきすきまつりのアンケートを取ったよ。今回はどんな結果かな？	楽しんでもらえているといいな。コメントも読みたいな。	◆ 2回目のすきすきまつりで改善したことをもとに、結果を知りたい、という情意面を引き出す。	
めあて：アンケートをまとめて、せいちょうをたしかめよう。				
2. 見通しを持ち、自力解決に取り組む。	1～5の数を集計して、どの数が多く出てくるか調べよう。	もっといいイベントにするには、アンケートの数と、その理由が大切だね。	◆ 活動を振り返るために、表を作った後の見通しを持った上で取り组ませる。	
3. 交流する。	アンケートの結果を表にまとめたよ。		◆ 表に対する見方・考え方を友達と比較する姿や、過去の自分のアンケート結果と比較する姿を価値づける。	
	5がいっぱい嬉しいな。	前のアンケート結果と比べて、よくなっていたのが嬉しい！		よくないと書いた人のコメントもみよう。
	友達はどうか考えているかな。	前の自分の結果と比べている人もいるね。		
4. 全体交流し、活動を振り返る。	どうして前の結果と違うのかな。		○ 過去と現在の表を比較することで「捉えなおし」、変化を読み取っている。【思考力・判断力・表現力】 ○ 過去と現在のアンケート結果の表を比較し、理由を考えたり、次の活動の見通しを持つよう思考する姿。【そうぞうの実践力】	
	今回は～するようにしたから…	見てくれた人のコメントも見てみよう。		
まとめ：前の表と今の表を比べると、変わった（成長した）ところがわかる。				
5. 友達と交流したことを活かし、もう少し考えてみる。	次につなげるにはどうしたらいいかな。		◆ 自分の改善した点を想起させることで、表の変化と結びつけられるように促す。	
	もっと良くなるように、2の意見の人のコメントを踏まえよう。	次は2が減って、4が増えるといいな。	◆ 今回の学習を踏まえて、次のすきすきまつりの見通しを持たせる。	